パブリックコメント一覧

日付	2020/9/27 23:15
お名前	[redacted]
フリガナ	
所属	選手
電話番号	[redacted]
メールアドレス	
住所	
年齢	49
ご意見	アンチドーピング講習についてです。 過去のオンライン実施の頃は、実際に私も不正行為を目にしており、あのままの方法ではいけないと思います。 しかし、このコロナの状況も鑑み、なんらかのオンライン実施が叶うなら、選手も運営も役員の方の負担も減るかと思います。 最後にテストを実施する、本人確認を行う(選手番号、住所、生年月日など複数要素)などして、不正に一人の選手が複数の講習修了証を得られないようにする工夫をして、試合前に確実に安全に、アンチドーピング講習を受けられるようになることを希望します。

日付	2020/9/30 14:38
お名前	[redacted]
フリガナ	
所属	JPA委員会関係者・選手
電話番号	[redacted]
メールアドレス	
住所	
年齢	53
ご意見	意見を言う機会を与えてくださり、ありがとうございます。失礼な言い方になっている部分もあるかと思いますが、中長期計画表の中で思ったことを書いていきます。 1. 理事の公正な選任と理事定数15名の早急な実現　会長の6/15の声明にあるように、理事は既存理事の知り合いで固めないこと。現在のように、異なる意見を持つ人たちを排除して、同じ価値観、視点の人だけで物事を決めるのは考えが偏っていて良くないと感じます。　女性も必要だと思いますが、若い世代を入れてほしいです。発想も新しくなるし、何より選手がついていきます。失礼ですが高齢者だけではどうしても考えや価値観が古く、時代に合わないなど世代のギャップを感じます。若い世代も意見を言えなくなります。 2. 情報開示　情報をオープンにしてほしいです。特に金の動きです。現在金がないのは裁判費用ということは薄々分かっていますが、詳細を我々選手にも共有してほしいです。どのように金が使われているのか。また、何が起こってそうなったのかの経過なども。議事録だけでは見えてこないです。 3. ボランティアワークの廃止　山口政権が終わる頃にも「この協会はボランティアワークだからダメなのだ」と言われていました。役員、委員、手伝ってくれた人に金を払うこと。特に若い世代は忙しいので、無償で協力してくれる人はなかなかいません。選手は自分のトレーニングが一番重要ですし。そのことが「何もしない名前だけの委員」を増やしているのだと思います。 4. 報奨金の復活　かなり前ですが、JPAでは、国際大会で優勝した選手に報奨金が出ていました。それがなくなった時、選手たちはがっかりしていました。これも選手のモチベーションアップに繋がります。 ■JPAへの希望　1. 選手の声を聞いてほしい　登録選手や役員がいつでも意見を言える「意見箱」のようなものがほしいです。選手の声が届かず、選手が置いてきぼりの独りよがりの運営では、誰もついていきません。　例えば、今年のJCP男子大会の開催延期、中止の決定。この決定は、理事会で決まったことならば選手たちも納得したと思いますが、会長が「5ちゃんねる」の匿名の人たちとのやり取りで決めたということで怒りのコメントがSNSに出ていました。一部の匿名の人達との話し合いではなく、こんな時にもエントリー選手に意見を聞いてもらうことは難しかったでしょうか。　兵庫の全日本パワー開催についても同じです。出場選手にとっては8/12の開催可否の発表も直前すぎますし、コロナ渦が異例のことで仕方ないですが、選手たちの声も聞いてほしいと思いました。　また他の例としては、ナショナルユニフォームの変更です。ユニフォームは、これまで何度も理事が変わるたびに変えられて、競技歴が長い選手は何度も購入させられています。色やデザインも、選手が着るものなので意見を聞いてほしいです。国旗の色が入っていないのは日本だけではないでしょうか。お金の点でも、今回のように理事の方（伊差川氏）の収入になる場合、売り上げの何%かはJPAに入っているのか、個人の収入になっているのか、それも情報開示して頂きたいです。 選手が意見を言える場としては、SNSの利用か、定期的にアンケートを取るなどでしょうか。東京協会のように、大会後に選手にアンケートを取るのも一つのいい方法だと思います。　個人的には、「5ちゃんねる」は匿名で悪口を書き合っているイメージがあり、あまり一般的ではないと感じます。Facebookは古くて高齢層しか利用していないので、今でしたら政治家やスポーツ選手らが利用しているTwitterが一番いいのではないかと思います。 2. 選手にとってやりやすい協会　まず「選手にとってやりやすい協会」であってほしいです。何かを決める時に「これは選手にとっていいのか？」と考えて、それを軸としてぶれないようにすれば自ずと人が寄ってきて、競技者も増え、人が協力したくなる団体になると思うのですが。　今は東京協会がその考えで活動しています。彼らの運営に見習うべきところがたくさんあるように感じます。常に「選手のために」を軸にした大会運営で、都大会参加者が爆発的に増えています。協賛企業の獲得により、魅力的な大会運営を実現できています。カメラマンにも撮影料がきちんと支払われています。現在開催中の「オンラインチャレンジ」も新人発掘のいい場になっています。また荒川氏の人柄も魅力的で、協力したくなります。リーダーの人柄も重要だと感じます。　JPAを改革するために、思い切って彼らのような若い世代に一度任せてみることはできないでしょうか。東京の荒川氏、阿久津氏、JPA広報委員長の奥谷氏、もちろん他県でも選手がついていく魅力的な若いリーダーはたくさんいます。　以上です。まだ立て直しが始まったばかりで大変ですが、どうかまたJPAが素晴らしい協会に戻りますように、私も協力できたらと思います。

パブリックコメント一覧

日付	2020/9/30 16:09
お名前	[redacted]
フリガナ	
所属	正会員・都道府県役員・審判
電話番号	[redacted]
メールアドレス	
住所	
年齢	39
ご意見	平素はお世話になりありがとうございます。 中期計画表を拝見させていただきました。　まず、選手育成についてですが、選手個々のモラルやマナー教育については様々な角度からアプローチをしていただき、パワーリフティング競技の地位向上をしていただきたいと考えています。　その中でも、これらのパワーリフティング競技を担う若者（高校生や大学生）の選手を最重要に考えていただきたいです。　現在、高校・大学で頑張る学生たちは一部を除き、学校にクラブ活動が存在していても、専門のジムなどに通って練習を行う形が一般的となっています。この原因は、偏に指導者の不在と言えると思います。　他のメジャー競技のように学校教育機関のなかで競技を学んでいく事が、とても少なく感じています。　選手育成にとって、一番重要なことは、競技性ということも大切ですが、その前に人として、競技を通し、様々な考える力、生きていく力を如何にして身に着けていくかであると考えます。　現在、顧問の先生方は教育的指導力があっても、パワーリフティングという競技をやっていなかったから、競技力の育成面でどうしてよいか分からず、やっておられる方も多いと思います。その結果、競技を分かっている方にお世話になろうと思っても、不思議ではありません。そのことを考えると指導する先生方へのセミナーの開催などや高校・大学単位での指導者育成にも力を入れていただければ幸いです。　次にレフリーの育成に於いてですが、現在レフリーのスキルアップは実技（試合）のみとなっています。　IPFの大幅なルール改正はオリンピックイヤーに合わせて4年に一度、小さな変更は毎年されています。　級数が上級の方でも、登録だけをして年会費を納め、何年かに1回実務を行うという方もおられます。そういう方の場合、ルール変更を知らない、もしく解釈違いをしているなど、様々な方がいらっしゃいます。　全国大会で行われているレフリークリニックでは時間的に内容の理解には限界があります。全員が共通したルール認識を持つ必要は競技の公平性につながると考えます。全員に対して、しっかりとした理解をしてもらうためにも全国大会などでレフリー勉強会（座学：60～90分程度、実務関係：60～90分程度）の実施や、審判講習会のように技術委員会に依頼をして、ブロックや都道府県単位で勉強会の開催などを行っていただければと思います。また、昇級条件や資格の継続認定にも盛り込んでいただければ、審判員へのモチベーションアップにもつながると思います。　以上、私の拙い意見でございます。出過ぎた意見をお許しいただけましたら幸甚です。